第49回栃木県透析医学会
プログラム・抄録集

【会　期】 2026年11月7日（土）

【会　場】 とちぎ健康の森

【主　催】 栃木県透析医学会

【大会長】 村山 直樹　医療法人社団二樹会 村山医院

【後　援】 栃木県透析医会

大会長挨拶

このたび、第49回栃木県透析医学会を開催するにあたり、大会長を務めますことを大変光栄に存じます。日頃より栃木県の透析医療を支えておられる医師、看護師、臨床工学技士、薬剤師、管理栄養士、リハビリテーションスタッフをはじめ、すべての医療関係者の皆様に心より敬意と感謝を申し上げます。

現在透析医療は大きく進歩してきた一方、患者さんの高齢化、フレイル・サルコペニア、認知機能低下、心血管疾患などの合併症、医療・介護を必要とする患者さんの増加など、課題はますます複雑になっています。これからの透析医療では、透析室の中だけで患者さんを支えるのではなく、腎臓専門医、透析施設、かかりつけ医、急性期病院、介護、行政、多職種などがつながり、地域全体で患者さんを支える体制が重要になります。CKDの早期発見から重症化予防、透析導入後の管理、リハビリテーション、さらには人生の最終段階における意思決定まで、切れ目のない医療を実現することが求められています。医療者同士が互いの専門性を尊重し、施設の垣根を越えて情報を共有し、地域全体で患者さんを支える仕組みをつくっていく必要があります。本学会が、そのための「つながり」を生み出す場となることを願っています。

さて本学会では皆様のご協力のもと59題もの演題をご応募いただきました。ご多忙のなか、貴重な研究や臨床経験をご発表くださる先生方、スタッフの皆さま、そして座長をお引き受けいただいた皆さまに、改めて心より感謝申し上げます。

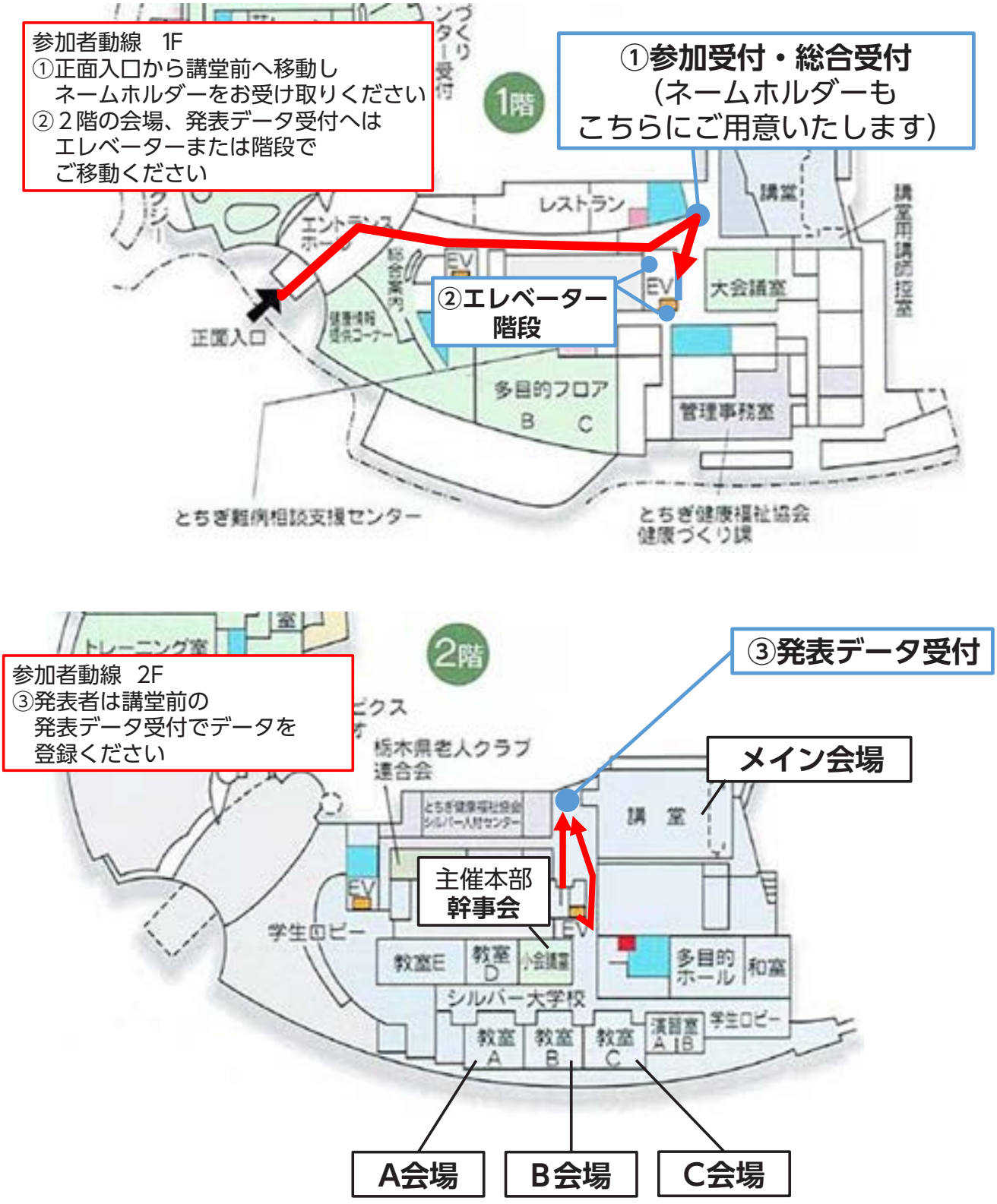
また今回特別講演として、東邦大学医療センター大橋病院 腎臓内科教授、常喜 信彦先生をお迎えしております。常喜先生は、慢性腎臓病から透析医療に至るまで、幅広い腎疾患診療に携わってこられ、CKDと心血管疾患との関連について深く研究されております。特に透析患者における心筋障害、心血管イベント、心臓突然死などについて、多くの研究・講演活動を行っておられます。常喜先生の講演を拝聴できることは、大変貴重な機会と存じます。どうぞ最後までご聴講いただければ幸いです。

第49回という歴史ある本学会を、これまで築かれてきた栃木県の透析医療を次の世代へつなぐ機会としたいと思います。第49回から第50回へ。そして、その先の栃木県の透析医療へ。

本学会が施設や職種の垣根を越えた交流と連携を生み、明日からの診療、そして患者さんとご家族のより良い生活につながる実り多き会となることを心より願っております。

第49回栃木県透析医学会
大会長　村山 直樹

会場図


参加者動線　1F
①正面入口から講堂前へ移動し
ネームホルダーをお受け取りください
②２階の会場、発表データ受付へは
エレベーターまたは階段で
ご移動ください
1階
①参加受付・総合受付
（ネームホルダーも
こちらにご用意いたします）
レストラン
講堂
講堂用調整室
エントランスホール
総合案内
EV
②エレベーター
階段
大会議室
正面入口
健康情報提供コーナー
多目的フロア
B　C
管理事務室
とちぎ難病相談支援センター
とちぎ健康福祉協会
健康づくり課
参加者動線　2F
③発表者は講堂前の
発表データ受付でデータを
登録ください
2階
③発表データ受付
メイン会場
トレーニング室
栃木県老人クラブ連合会
とちぎ健康福祉協会
シルバー人材センター
講　堂
主催本部
幹事会
学生ロビー
教室E
教室D
小会議室
多目的ホール
和室
シルバー大学校
教室A
教室B
教室C
演習室A
演習室B
学生ロビー
A会場
B会場
C会場

座長・演者の皆様へ

【座長の先生】

セッション開始15分前までに会場内の次座長席（右手前方）にご着席ください。
発表時間は下記の通りです。ご担当のセッションが時間内に終了しますように進行ください。
セッション開始のアナウンスはありません。お時間になりましたらセッションを開始してください。

【演者の先生】

発表時間厳守につきご協力をよろしくお願い申し上げます。
優秀演題・一般演題：8分（ご発表6分／質疑応答2分）

■発表データ受付

学会当日に発表データの受付を行います。発表開始30分前までに発表データの試写ならびに受付をお済ませください。原則、PC受付や会場内PC担当席でのデータ修正はできません。

日時：11月7日（土）　14：30 ～ 18：15
場所：とちぎ健康の森　２Ｆ　講堂前ロビー

■発表方法およびデータの取り扱いについて

1. 発表時間は上記の通りです。時間を厳守してご発表ください。
2. セッション開始10分前までに、会場内の次演者席（左手前方）および付近にご着席ください。
3. 発表方法について
   - 原則、Microsoft PowerPointをご使用ください。
   - Windowsを使用する場合は、以下の条件で作成したデータUSBフラッシュメモリに保存してから、ご持参ください。
     Windows Microsoft OS標準のフォントを使用してください。
   - Macintoshを使用する場合は、バックアップとしてPCをご持参ください。データをUSBフラッシュメモリに保存してご持参ください。
4. PC発表（PCを持参される場合）における注意点
   - 発表はすべてPCによる発表（単写）とします（スライドは使用できません）。
   - グラフや動画など、データをリンクさせている場合は、必ず元データも保存してください。
   - 発表時の操作は、演者席にてご自身で行ってください。
   - パソコンACアダプターを必ず持参してください。ディスプレイの外部出力はHDMI端子です。
   - HDMI端子アダプターが必要な場合は持参をお願いします。
   - 発表中にスクリーンセーバーや省電力機能で電源が切れないように、あらかじめ設定を確認してください。
   - スライドサイズは（16：9）を推奨しておりますが、（4：3）でも対応は可能です。

		15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
メイン会場 講堂	開会挨拶	15:00～16:00 日本透析医学会2026年度 関東地区生涯教育プログラム **特別講演** 透析診療と 心筋再分極時間 演者：常喜 信彦 座長：村山 直樹 共催：扶桑薬品工業株式会社	16:10～16:55 **学会特別企画** (スイーツセミナー1) 演者：根本 遵 座長：小藤田 篤 共催：大塚製薬株式会社	17:05～17:50 **学会特別企画** (スイーツセミナー2) 演者：村上 円人 座長：朝倉 伸司 共催：協和キリン株式会社	18:00～18:45 **学会特別企画** (スイーツセミナー3) 演者：星 健太 座長：小倉 学 共催：ゼリア新薬工業株式会社	19:00～19:25 **表彰式・閉会**
A会場 教室A			16:00～16:53 **優秀演題** **優1～優6** 座長：増田 貴博	16:55～17:43 **一般演題3** バスキュラーアクセス1 **O3-1～O3-6** 座長：奥田 康輔	17:45～18:41 **一般演題6** 患者支援/患者管理2・その他 **O6-1～O6-7** 座長：小林 玲子 立本 あゆみ	
B会場 教室B			16:00～16:48 **一般演題1** 症例/臨床研究 **O1-1～O1-6** 座長：里中 弘志	16:50～17:46 **一般演題4** 危機管理1 **O4-1～O4-7** 座長：中野 信行 永瀬 秋彦	17:50～18:38 **一般演題7** バスキュラーアクセス2 **O7-1～O7-6** 座長：木村 貴明	
C会場 教室C			16:00～16:48 **一般演題2** 医療機器/透析技術 **O2-1～O2-6** 座長：村山 慶樹	16:50～17:30 **一般演題5** 患者支援/患者管理1 **O5-1～O5-5** 座長：澤村 直子 飯野 佳美	17:35～18:15 **一般演題8** 腹膜透析/在宅透析・移植・その他 **O8-1～O8-5** 座長：阿部 誠	18:20～19:00 **一般演題9** 危機管理2・栄養・HDF・吸着法 **O9-1～O9-5** 座長：平尾 潤

＜取得可能単位について＞

・日本透析医学会地方学術集会参加単位（5単位）
　総合受付にて芳名帳へご記名いただいた方へ「参加証」をお渡しいたします。
・日本透析医学会生涯教育プログラム（5単位）
　15：00 ～ 16：00の「特別講演」を聴講のうえ、講堂前にて芳名帳へご記名いただいた方へ「聴講証」をお渡しいたします。

プログラム

メイン会場/講堂

特別講演　15:00 ～ 16:00

座長　村山 直樹（医療法人社団二樹会 村山医院）

透析診療と心筋再分極時間

演者　常喜 信彦（東邦大学医療センター大橋病院　腎臓内科）

共催：扶桑薬品工業株式会社

学会特別企画：（スイーツセミナー1）　16:10 ～ 16:55

座長　小藤田 篤（せいいかいメディカルクリニック）

CKD・透析領域において血圧管理と臓器保護は両立できるのか？

演者　根本 遵（竹村内科腎クリニック 理事長 院長）

共催：大塚製薬株式会社

学会特別企画：（スイーツセミナー2）　17:05 ～ 17:50

座長　朝倉 伸司（小山すぎの木クリニック）

厳格なリン管理の新たな展開
～CKD-MBDガイドライン2025を踏まえて～

演者　村上 円人（佐野厚生総合病院）

共催：協和キリン株式会社

学会特別企画：（スイーツセミナー３）　18:00 ～ 18:45

座長　小倉 学（おぐら内科・腎クリニック）

「慢性腎臓病と高Ｋ血症のジレンマを乗り越える」
～ Ｋ吸着薬を使った「入船にも出船にも良い風」戦略 ～

演者　星 健太（佐野厚生総合病院　腎臓内分泌代謝内科）

共催：ゼリア新薬工業株式会社

表彰式・閉会　19:00 ～ 19:25

A会場 / 教室A

優秀演題＜発表6分、質疑応答2分＞　16:00 ～ 16:53

座長　増田 貴博（自治医科大学　腎臓内科学部門）

優-1　透析患者に於ける食行動の傾向と臨床的背景、各種指標との関連について ～三因子摂食調査票 TFEQ-R21 を用いて～

医療法人環の会 真岡メディカルクリニック 第2透析室

○佐々木 裕孝、岩崎 陽子、渡邊 志津香、伊藤 千春、飯村 修

優-2　透析シャントPTAの疼痛軽減に対する筋皮神経ブロックの有用性

とちぎメディカルセンター 腎臓内科[1)]、せいいかいメディカルクリニックOYAMA[2)]

○村上 琢哉[1)]、小林 高久[1)]、原田 慎也[1)]、菅生 太朗[2)]、小藤田 篤[2)]

優-3　血液透析導入後の早期死亡リスク因子と対策

宇都宮記念病院 腎・透析センター[1)]、宇都宮記念病院 腎臓外科[2)]、宇都宮記念病院 腎臓内科[3)]

○南木 浩二[1,2)]、石光 晃[1,3)]

優-4　吸着型血液浄化器レオカーナの血液流量および治療時間が溶質除去率に及ぼす影響

佐野厚生総合病院 CEセンター[1)]、佐野厚生総合病院 腎臓内分泌代謝内科[2)]

○野口 和樹[1)]、村上 円人[2)]、矢内 義人[1)]、栗原 未来[1)]、安中 恵美莉[1)]、中山 菜々花[1)]、高崎 莉那[1)]、赤羽根 郁也[1)]、萩原 広登[1)]、磯 大基[1)]、加藤 義博[1)]、岡 巧馬[1)]、堀越 千夜[1)]、石塚 和重[1)]、杉浦 康平[2)]、佐藤 芳紀[2)]、星 健太[2)]

優-5　コロナ禍明け以降の献腎移植の動向と当院の移植成績について

自治医科大学 腎泌尿器外科学講座 腎臓外科学部門

○岩見 大基、中尾 俊雅、南園 京子、大山 雄大、長田 拓也、石川 暢夫

優-6　東日本大震災以降の栃木県内透析施設における4つの地震対策遵守率の推移

医療法人開生会 奥田クリニック

○奥田 康輔、越井 正太郎、藤田 弘毅、千吉良 諄

一般演題３：バスキュラーアクセス１＜発表6分、質疑応答2分＞　16:55 ～ 17:43

座長　奥田 康輔（奥田クリニック）

O3-1　SVPモニタリングを活用したAVG狭窄の早期発見

ひらいで公園腎クリニック 臨床工学部[1)]、ひらいで公園腎クリニック 医師[2)]
○宇賀神 達也[1)]、菊池 正康[1)]、山本 和史[1)]、田代 伊吹[1)]、齋藤 妃呂[1)]、増渕 規徒[1)]、木村 貴明[2)]

O3-2　長期留置カテーテルを用いた外来緊急透析導入の検証

医療法人社団 聖医会 せいいかいメディカルクリニックNASU 医療技術部[1)]、
医療法人社団 聖医会 せいいかいメディカルクリニックNASU 腎臓内科[2)]、
医療法人社団 聖医会 せいいかいメディカルクリニックOYAMA 腎臓内科[3)]
○郡司 凌[1)]、菅生 太朗[2)]、小藤田 篤[3)]

O3-3　AVF狭窄に対するDrug-Coated Balloonの治療成績 ～単施設における後方視的検討～

医療法人社団 聖医会 せいいかいメディカルクリニックNASU 医療技術部[1)]、
医療法人社団 聖医会 せいいかいメディカルクリニックNASU 循環器内科[2)]、
医療法人社団 聖医会 せいいかいメディカルクリニックNASU 腎臓内科[3)]、
医療法人社団 聖医会 せいいかいメディカルクリニックOYAMA 腎臓内科[4)]
○山田 航平[1)]、五十嵐 祐介[4)]、家村 知海[2)]、菅生 太朗[3)]、小藤田 篤[4)]

O3-4　鎖骨下動脈高度狭窄によりエコー所見で上腕動脈偽狭窄を示した症例

医療法人社団 聖医会 せいいかいメディカルクリニックNASU 医療技術部[1)]、
医療法人社団 聖医会 せいいかいメディカルクリニックNASU 腎臓内科[2)]、
医療法人社団 聖医会 せいいかいメディカルクリニックOYAMA 腎臓内科[3)]、
医療法人社団 聖医会 せいいかいメディカルクリニックNASU 循環器内科[4)]
○園川 友樹[1)]、山田 航平[1)]、五十嵐 祐介[3)]、家村 知海[4)]、菅生 太朗[2)]、小藤田 篤[3)]

O3-5　看護師のシャントエコー技術習得によるバスキュラーアクセス管理の有用性

医療法人社団慶生会目黒医院 看護部[1)]、医療法人社団慶生会目黒医院 技術部技士課[2)]、
医療法人社団慶生会目黒医院 医師[3)]
○髙田 美佳[1)]、髙柳 夏千[1)]、岩田 礼子[1)]、伊藤 正啓[2)]、木村 太文[2)]、目黒 大志[3)]

O3-6　推定血流量モニタを活用した狭窄の早期発見方法の検討

医療法人ヒポクラテス竹村内科腎クリニック 技士部[1)]、
医療法人ヒポクラテス竹村内科腎クリニック 医局[2)]
○桑嶌 亮汰[1)]、小島 裕樹[1)]、加藤 周一[1)]、森 研介[1)]、鈴木 宏哉[1)]、竹村 克己[2)]、根本 修[2)]、根本 遵[2)]

一般演題6：患者支援/患者管理2・その他<発表6分、質疑応答2分> 17:45 ～ 18:41

座長　小林 玲子（自治医科大学附属病院 透析センター）
立本 あゆみ（宇都宮腎内科皮膚科クリニック）

O6-1　MMSEを用いた透析患者のフットケアスケジュールの作成と実践

小山すぎの木クリニック 看護部
○栁 洋幸、三上 卓耶、川田 松江、平野 美紀、中三川 友希、飯島 瑞基、大川 貴将、小暮 奈津美、清水 ひろえ、木下 善隆、木下 真希、三木 拓哉、朝倉 伸司

O6-2　体重管理が困難な血液透析患者に対する行動変容支援 行動分析学を参考にした段階的アプローチの試み

医療法人ナイルス 宇都宮腎内科皮膚科クリニック 透析センター
○高山 里奈、川津 真起子、野澤 亜弥、立本 あゆみ、中野 信行

O6-3　当院の内服管理向上を試みて～内服薬疑似体験を通して～

医療法人ヒポクラテス 竹村内科腎クリニック 看護部[1)]、
医療法人ヒポクラテス 竹村内科腎クリニック 医局[2)]
○須田 俊行[1)]、菊池 由子[1)]、根本 修[2)]、根本 遵[2)]、竹村 克己[2)]

O6-4　血液透析患者への持続血糖測定を活用した患者指導により血糖管理の改善につながった症例

社会医療法人中山会宇都宮記念病院 腎・透析センター
○石川 らいむ、千々和 京介、前囿 光昭、石光 晃、南木 浩二

O6-5　通院透析患者における服薬アドヒアランスの現状と課題

医療法人 環の会 真岡メディカルクリニック 透析室
○山内 真弓、黒澤 美幸、飯島 由里子、高橋 早百合、工藤 早矢香、和泉 由紀、岡本 早苗、伊藤 千春、飯村 修

O6-6　フォゼベル®錠による下痢を経験した透析患者の服薬継続に向けた看護支援

ひらいで公園腎クリニック 看護部[1)]、ひらいで公園腎クリニック 医師[2)]
○板垣 雪貴恵[1)]、岡 朝海[1)]、猪瀬 恵理子[1)]、木村 貴明[2)]

O6-7　定期的フットチェックを受ける血液透析患者の足病変リスク認識とセルフケア行動の実態

佐野厚生農業協同組合連合会 佐野厚生総合病院 透析センター[1)]、
佐野厚生農業協同組合連合会 佐野厚生総合病院 腎内分泌代謝内科[2)]
○主濱 恵美[1)]、吉田 円[1)]、石塚 由圭[1)]、小野 奈穂子[1)]、村上 円人[2)]

B会場 / 教室B

一般演題1：症例 / 臨床研究＜発表6分、質疑応答2分＞　16:00 ～ 16:48

座長　里中 弘志（獨協医科大学病院 腎臓・高血圧内科）

O1-1　両側腎動脈狭窄の精査中にPickering syndromeを呈した一例

とちぎメディカルセンターしもつが 腎臓内科[1)]、自治医科大学附属病院 臨床検査医学講座[2)]、
とちぎメディカルセンターしもつが 循環器内科[3)]
○原田 慎也[1)]、村上 琢哉[1)]、小林 高久[1)]、岩津 好隆[2)]、永嶌 貴樹[3)]、朝日 善治[3)]、
成田 圭祐[3)]

O1-2　エチレングリコール中毒に対する早期血液透析導入が奏効し透析離脱に至った一例

自治医科大学附属病院 臨床工学部[1)]、自治医科大学 腎臓内科[2)]
○野中 花[1)]、松岡 諒[1)]、渡邉 直希[1)]、富張 晃輔[1)]、小塙 菜月[1)]、吉原 裕騎[1)]、神山 智基[1)]、
中田 翔太[2)]、湯山 康介[2)]、大江 一帆[2)]、西畑 淳也[2)]、菊池 貴子[2)]、木下 真希[2)]、
駒田 敬則[2)]、平井 啓之[2)]、増田 貴博[2)]、森下 義幸[2)]

O1-3　当院透析患者におけるロモソズマブの使用経験

医療法人小山すぎの木クリニック[1)]、佐野厚生農業協同組合連合会佐野厚生総合病院[2)]
○和泉 裕太[1)]、青木 駿[1)]、池田 康樹[1)]、大平 優樹[1)]、小野口 ゆかり[1)]、小暮 達也[1)]、
清水 ひろえ[1)]、鈴木 巧[1)]、菜花 和子[1)]、橋本 明子[1)]、福田 凌[1)]、元越 尚也[1)]、
大島 祐太[1)]、萩原 健[2)]、吉川 寿一[2)]、木下 善隆[1)]、木下 真希[1)]、倉科 智行[1)]、
三木 拓哉[1)]、朝倉 伸司[1)]

O1-4　オンラインHDF併用下におけるリクセル® 導入が透析関連手根管症候群に及ぼす影響

医療法人徳真会真岡病院 透析科[1)]、ましこ令和クリニック 透析科[2)]
○佐々木 直人[1)]、池田 唯[1)]、福留 阿久莉[2)]、関根 貴之[1)]、荒井 真尋[1)]、平賀 康寛[1)]、
平出 侑加[2)]、河原 直美[2)]、荒井 和紀[1)]、滝田 久巳子[1)]、大島 昌恵[1)]、澤村 直子[1)]、
山崎 忠[1)]、馬込 公子[1)]、米澤 泰[1)]、福嶋 博道[1)]、横田 徳継[1)]

O1-5　透析液流量の段階的変更によるCS%・Kt/Vの変動特性の解析

おぐら内科・腎クリニック 技士部[1)]、おぐら内科・腎クリニック 看護部[2)]、
おぐら内科・腎クリニック[3)]
○加藤 聖[1)]、大森 優也[1)]、山田 絢香[1)]、八木橋 拓也[1)]、阿部 幸大[1)]、綱川 悟史[1)]、
亀山 大輔[1)]、渡邊 達耶[1)]、山田 浩史[2)]、渡邉 剛志[1)]、小倉 学[3)]

O1-6　血液透析患者の透析後半の血圧低下に影響を及ぼす因子の検討

医療法人環の会 真岡メディカルクリニック[1)]、医療法人環の会 芳賀メディカルクリニック[2)]
○藤木 桃子[1)]、太城 夏美[1)]、金泉 崇[1)]、金田 智美[2)]、菅沼 剛[1)]、井岡 崇[2)]、伊藤 千春[1)]、
飯村 修[1)]

一般演題4：危機管理1＜発表6分、質疑応答2分＞　16:50 ～ 17:46

座長　中野 信行（宇都宮腎内科皮膚科クリニック）
永瀬 秋彦（宇都宮第一病院）

O4-1　断水による2日間の透析不能、8施設・延べ112名の臨時透析オペレーションの実際と課題

宇都宮腎内科皮膚科クリニック
○中野 信行、立本 あゆみ、大瀧 陽二、糸井 澄枝、酒田 明美、川口 悦男、川津 真起子

O4-2　当院における透析患者の災害意識調査に基づく災害対策マニュアル作成と171 伝言ダイヤル訓練の取り組み

医）社団二樹会 村山医院 透析室
○澁谷 秀美、櫛渕 里美、高松 由喜子、鈴木 真智子、青柳 幸恵、小堀 麻希子、荒井 結美、佐藤 博美、長谷川 貴美、村山 慶樹、村山 直樹

O4-3　災害用伝言ダイヤル訓練の実施頻度見直しによるアンケート回収率の変化

那須南病院[1)]、自治医科大学医学部内科学講座腎臓内科部門[2)]
○川上 亜希子[1)]、鈴木 育郎[1)]、青木 聡子[1)]、佐藤 真由美[1)]、本多 秀子[1)]、菊池 和也[1)]、小西 貴裕[1)]、廣木 強司[1)]、増田 貴博[2)]、宮田 幸雄[1,2)]

O4-4　当院における災害対策の取り組みと課題

医療法人社団廣和会両毛クリニック 透析室[1)]、医療法人社団廣和会両毛クリニック 腎臓内科[2)]
○岡田 ひろみ[1)]、茂木 美奈子[1)]、島田 千賀子[1)]、簾谷 裕子[1)]、吉田 仲子[1)]、伊澤 佐世子[2)]、池内 廣邦[2)]

O4-5　災害対策マニュアル作成の取り組みと防災委員会活動の重要性

医療法人社団慶生会目黒医院 技術部技士課[1)]、医療法人社団慶生会目黒医院 看護部[2)]、医療法人社団慶生会目黒医院 医師[3)]
○大貫 文也[1)]、塩入 蒼生[1)]、石濱 聡美[2)]、岩田 礼子[2)]、目黒 大志[3)]

O4-6　透析装置洗浄・消毒業務における塩素ガス発生防止対策とリスク管理体制の構築

獨協医科大学病院 臨床工学部
○園塚 亮太、川田 貴生、柿沼 聡、間井田 明良、山口 剛史

O4-7　病室における血液透析後シャント大量出血を経験して

医療法人開生会奥田クリニック 臨床工学部[1)]、医療法人開生会奥田クリニック 医師[2)]
○川田 鷹亮[1)]、奥田 康輔[2)]、越井 正太郎[1)]、井上 靖宏[1)]、藤田 弘毅[1)]、橋本 一輝[1)]

一般演題7：バスキュラーアクセス2＜発表6分、質疑応答2分＞　17:50 ～ 18:38

座長　木村 貴明（ひらいで公園腎クリニック）

O7-1　病棟看護師におけるシャント聴診の実態と教育課題 ―「聴く」と「わかる」の乖離に着目して―

芳賀赤十字病院 医療技術部 臨床工学課

○坂本 達彦、武本 流生也、木村 紘子、加河 佑規、石倉 春樹、岩本 澄也、島田 俊昭、阿部 麻由美、新部 武人

O7-2　高齢血液透析患者における動脈表在化手術の再考

せいいかいメディカルクリニックOYAMA 技士部

○武田 光博、山崎 剛史、菅生 太朗、小藤田 篤

O7-3　超音波ガイド下穿刺によりアクセス温存し得た表在化上腕動脈解離の1例

自治医科大学附属病院 内科学講座腎臓内科学部門

○湯山 康介、中田 翔太、大江 一帆、三澤 響平、西畑 淳也、菊池 貴子、駒田 敬則、平井 啓之、増田 貴博、森下 義幸

O7-4　VA管理へのPI値活用に向けた3機種のパルスオキシメータの比較 ―反復測定による予備的検討―

芳賀赤十字病院 医療技術部 臨床工学課

○坂本 達彦、武本 流生也、木村 紘子、加河 佑樹、石倉 春樹、岩本 澄也、島田 俊昭、阿部 麻由美、新部 武人

O7-5　TCC留置時の血管外迷入事例を契機としたトラブルシューティング・プロトコルの構築

せいいかいメディカルクリニックOYAMA 技士部

○新村 隆太、武田 光博、田中 祐介、山崎 剛史

O7-6　ャントスコアリングシート及びシャントマップを用いたシャント管理 ～運用した結果と有用性の報告～

医療法人環の会 芳賀メディカルクリニック[1)]、医療法人環の会 真岡メディカルクリニック[2)]

○髙野 晃弘[1)]、金田 智美[1)]、太城 夏美[2)]、伊藤 花奈[2)]、井岡 崇[1)]、伊藤 千春[2)]、飯村 修[1,2)]

C会場 / 教室C

一般演題2：医療機器 / 透析技術＜発表6分、質疑応答2分＞　16:00 ～ 16:48

座長　村山 慶樹（村山医院）

O2-1　HVSIおよび電子聴診器（KIKUKIT）を用いた簡易的血管アクセス（VA）評価の有用性の検討

小山クリニック 臨床工学技士部[1)]、小山クリニック 看護部[2)]、小山クリニック 医師[3)]

○川田 達也[1)]、大橋 正和[1)]、蛭田 哲也[2)]、斎藤 やよい[2)]、板井 紀郎[3)]

O2-2　過酢酸系除菌洗浄剤ステラケアCA導入による透析装置の洗浄性および保守負荷の変化

医療法人ナイルス 宇都宮 腎・内科・皮膚科クリニック 透析センター

○手塚 綾音、松本 遥奈、布袋田 渉平、永沼 美里、川口 悦男、大瀧 陽二、中野 信行

O2-3　穿刺針および設定ポンプ流量による総脱血量損失への影響（続報）

医療法人 環の会 真岡メディカルクリニック 透析室

○松尾 弘聖、伊藤 花奈、金泉 崇、篠﨑 弘貴、太城 夏美、藤木 桃子、菅沼 剛、伊藤 千春、飯村 修

O2-4　維持透析患者における慢性疼痛・痺れに対するait（交番磁界治療器）の検討

医）社団二樹会 村山医院 透析室

○手塚 健哉、吉川 育代、福田 龍介、谷田部 弥栄子、竹内 康洋、村山 慶樹、村山 直樹

O2-5　透析中の末梢循環反応性に着目したポケットLDF測定

高橋クリニック

○神長 賢、雫 直樹、藤野 克弥、齊藤 直也、高橋 利明、稲田 英毅

O2-6　穿刺失敗後の気持ちの切り替えを支えるには ―透析スタッフの経験年数と求める支援に着目して―

医療法人開生会奥田クリニック 看護部[1)]、医療法人開生会奥田クリニック 臨床工学部[2)]、医療法人開生会奥田クリニック 腎臓内科[3)]

○大森 大輔[1)]、花澤 美敬[1)]、越井 正太郎[2)]、髙橋 秀明[3)]、奥田 康輔[3)]

一般演題5：患者支援/患者管理1＜発表6分、質疑応答2分＞　16:50 ～ 17:30

座長　澤村 直子（徳真会 真岡病院）
飯野 佳美（獨協医科大学病院 血液浄化センター）

O5-1　2型糖尿病が判明した血液透析患者への自己管理支援 －チルゼパチド導入を契機とした一事例－

獨協医科大学日光医療センター 看護部[1)]、
獨協医科大学日光医療センター 循環器内科・腎臓内科・心臓内科[2)]
○大島 良恵[1)]、星野 倫子[1)]、手塚 早苗[1)]、三村 大輔[1)]、川本 進也[2)]

O5-2　認知症患者の血液透析導入における患者・家族への支援の一考察 ―ペプロウの対人関係理論を用いた振り返り―

獨協医科大学日光医療センター 看護部[1)]、獨協医科大学日光医療センター 循環器内科、
心臓・血管・腎臓内科[2)]
○江田 有弥[1)]、星野 倫子[1)]、手塚 早苗[1)]、三村 大輔[1)]、嶋中 侑亮[2)]、川本 進也[2)]

O5-3　80歳以上の高齢透析導入患者に向けた視覚的支援を強化した「透析生活ガイド」の作成と取り組み

医療法人環の会 芳賀メディカルクリニック[1)]、医療法人環の会 真岡メディカルクリニック[2)]
○屋代 裕子[1)]、黒﨑 真美[1)]、上野 真由美[1)]、岡本 早苗[2)]、渡邉 志津香[2)]、井岡 崇[1)]、
伊藤 千春[2)]、飯村 修[1,2)]

O5-4　当院での透析継続を希望した患者の看護支援 ～地域連携における透析看護師の役割～

ひらいで公園腎クリニック 看護部[1)]、ひらいで公園腎クリニック 医師[2)]
○五十嵐 未奈[1)]、坂本 幸子[1)]、保坂 里江[1)]、板垣 雪貴恵[1)]、木村 貴明[2)]

O5-5　非エンジニア医師によるvibe codingの実践 ― 透析回診の優先順位付けを目的として ―

せいいかいメディカルクリニックNASU[1)]、せいいかいメディカルクリニックOYAMA[2)]
○菅生 太朗[1)]、大森 英幸[1)]、石井 可奈子[1)]、小藤田 篤[2)]

一般演題８：腹膜透析 / 在宅透析・移植・その他＜発表6分、質疑応答2分＞

17:35 ～ 18:15

座長　阿部 誠（獨協医科大学病院 腎臓・高血圧内科）

O8-1　クルーズ旅行を希望したHD患者のHybrid透析移行症例 ― 無床クリニックでのPD導入経験 ―

おぐら内科・腎クリニック 看護部[1)]、おぐら内科・腎クリニック[2)]
○山田 浩史[1)]、猪瀬 桂子[1)]、小倉 学[2)]

O8-2　無床診療所が担う経皮的腹膜透析カテーテル挿入術（PPAP）―看護師の取り組み―

医療法人社団 聖医会 せいいかいメディカルクリニックNASU[1)]、
医療法人社団 聖医会 せいいかいメディカルクリニックOYAMA[2)]
○中澤 夏季[1)]、石塚 佳音[1)]、菅生 かおり[1)]、平野 妙子[1)]、小林 絵美[1)]、坂堂 桂子[1)]、
菅生 太朗[1)]、小藤田 篤[2)]

O8-3　宇都宮記念病院における腎移植外来の現状と意義

宇都宮記念病院 腎・透析センター[1)]、宇都宮記念病院 腎臓外科[2)]、宇都宮記念病院 腎臓内科[3)]
○南木 浩二[1,2)]、石光 晃[1,3)]

O8-4　A病院透析センターで看護師が患者から受けたハラスメントの実態

医療法人社団全仁会 宇都宮中央病院 看護部透析センター
○金田 伶奈

O8-5　透析医療について臨床工学技士×透析室看護師と協働で行った勉強会の効果

那須赤十字病院 医療技術部 臨床工学技術課[1)]、那須赤十字病院 看護部[2)]、
那須赤十字病院 腎臓内科[3)]
○大金 竜也[1)]、小林 海脩[1)]、三浦 聖奈[1)]、佐藤 遥樹[1)]、佐久間 皓平[1)]、関戸 貴大[1)]、
十河 匡光[1)]、室井 純一[1)]、飯村 中二[2)]、望月 沙羅[2)]、渡邉 京子[2)]、大口 真寿[3)]

一般演題9：危機管理2・栄養・HDF・吸着法＜発表6分、質疑応答2分＞

18:20 ～ 19:00

座長　平尾 潤（獨協医科大学病院 腎臓・高血圧内科）

O9-1　透析室インシデントカンファレンスにおける生成AI活用の試み ―追加視点と現行対策・スタッフ評価―

ひらいで公園腎クリニック 臨床工学部[1)]、ひらいで公園腎クリニック 医師[2)]
○菊池 正康[1)]、山本 和史[1)]、田代 伊吹[1)]、齋藤 妃呂[1)]、宇賀神 達也[1)]、増渕 規徒[1)]、木村 貴明[2)]

O9-2　ますだトータルケアクリニックにおける透析BCPの策定

ますだトータルケアクリニック 透析センター
○阿部 政利、井野口 雄一、石田 和則、増田 雄彦

O9-3　当院透析患者の栄養状態の分析と低栄養患者に対するアプローチ

中川内科クリニック 透析科
○成澤 衣里、斉藤 夏美、清水 紀子、中川 早紀、中川 洋一

O9-4　On-lineHDFにおけるフィルトール取り付け位置の考察

中川内科クリニック 透析室部
○國信 凜、関口 蓮、川中子 友里、古村 圭規、中川 早紀、中川 洋一

O9-5　当院でのレオカーナ施行による下肢病変の治療経過1症例

冨塚メディカルクリニック 透析課[1)]、冨塚メディカルクリニック 医師[2)]
○渡邊 彩未[1)]、浅野 智久[1)]、鈴木 薫子[1)]、冨塚 浩[2)]